

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	NTKセラミック株式会社					
代表者名	氏名	板井 基彦	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	愛知県小牧市大字岩崎2808					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業				
主たる事業の概要	セラミックICパッケージ製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	6,092	5,787	6,521	7,221	6,219
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	12,029	11,427	12,819	14,149	12,203
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	2		2	2	5
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	7				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

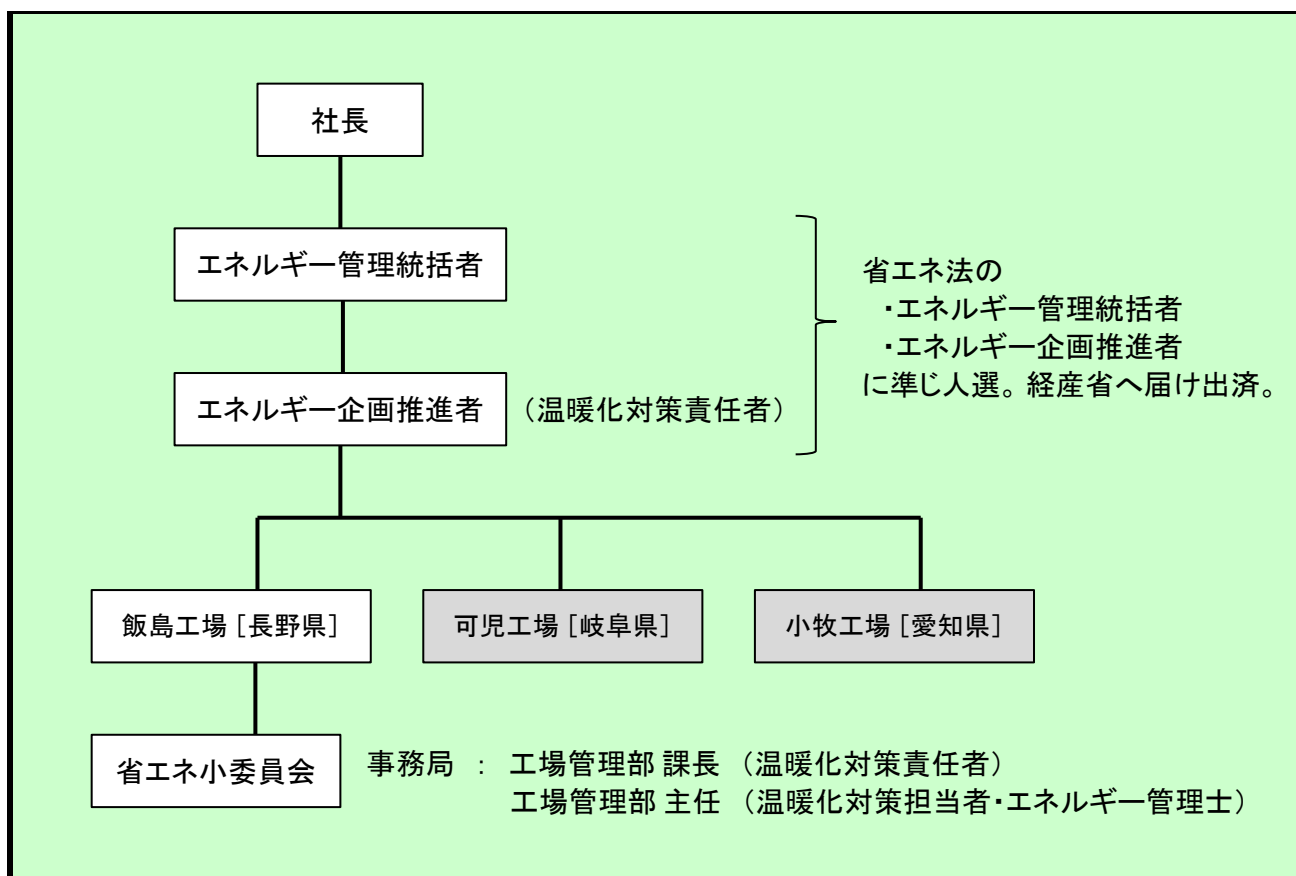
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	飯島工場 工務部 へ連絡をお願いします。 TEL 0265-86-5177 (直通) 閲覧可能時間・・・平日9:00～15:00
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

日本特殊陶業株式会社のグループ企業の一員として、
「日本特殊陶業グループ エコビジョン2030」で掲げられた、方針遂行の一翼を担う。
環境負荷低減活動、環境目標を定め、総員参加での取り組みを実施。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

NTKセラ地区 環境委員会 : 3ヵ月毎
飯島工場 省エネ小委員会 : 毎月

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	12,029	t-CO ₂	付加価値生産金額	7,135.00	単位	百万円
2019年度	調整後排出量	12,029	t-CO ₂	基準原単位	1.69	t-CO ₂ /	百万円
目標年度	目標排出量	11,427	t-CO ₂	目標原単位	1.61	t-CO ₂ /	百万円
2022年度	目標削減率	5.00	%	目標削減率	5.00	%	
目標設定に関する説明	3年間で、指標：付加価値生産金額を5%の改善するため、省エネ対策を実施し、ピークカットへの取り組みも進めていく。また、生産性を向上させるための取り組みも併せて進めて行く。						
第一年度	排出量	12,819	t-CO ₂	付加価値生産金額	7,988.67	単位	百万円
	削減率	-6.57	%	原単位	1.60	t-CO ₂ /	百万円
2020年度	調整後排出量	12,819	t-CO ₂	原単位削減率	5.32	%	
	削減率	-6.57	%				
排出量等の増減理由	換気設備の運転管理, 燃焼設備の効率管理の省エネ対策を実施する事により排出量は増えたものの付加価値生産金額が5.32%向上出来た。						
第二年度	排出量	14,149	t-CO ₂	付加価値生産金額	10,731.90	単位	百万円
	削減率	-17.63	%	原単位	1.32	t-CO ₂ /	百万円
2021年度	調整後排出量	14,149	t-CO ₂	原単位削減率	21.89	%	
	削減率	-17.63	%				
排出量等の増減理由	基準年度比、付加価値生産金額 50.4%増、CO2排出量 17.6%増であった。高効率なユーティリティ設備の導入など排出抑制対策を実施した事により指標となる原単位は、対計画年度比で、1.61→1.32 と、18% 向上した。						
第三年度	排出量	12,203	t-CO ₂	付加価値生産金額	8,415.50	単位	百万円
	削減率	-1.45	t-CO ₂	原単位	1.45	t-CO ₂ /	百万円
2022年度	調整後排出量	12,203	t-CO ₂	原単位削減率	14.20	%	
	削減率	-1.45	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	基準年度比で、付加価値生産金額 約18%増、CO2排出量 約1.4%増であった。エネルギー使用量が基準年度より若干増加したものの、効率的な生産活動を行うための行動がとれたため、原単位の推移は好調。指標となる原単位は、対計画年度比で、1.69→1.45 と、約14% 向上した。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	7	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	330207	換気設備の運転管理	2020	22.1	2020～ 2022	28.9
2	エネ起	320102	燃焼設備の効率管理	2020	84.9	2020	100.3
3	エネ起	320203	加熱等設備の負荷管理			2021	21.6
4	エネ起	360703	コンプレッサーの運転管理			2021～ 2022	101.4
5	エネ起	320204	加熱等設備の効率管理			2021～ 2022	33.6
6	エネ起	330203	クリーンルームの空気調和管理			2022	77
7	エネ起	350699	受変電設備及び配電設備に係る その他の削減対策			2022	2
8	エネ起	360799	ポンプ、ファン、ブロワー、コ ンプレッサー等に係るその他の			2022	259.2
9	エネ起	380752	LEDの導入			2022	3.3
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
特になし						

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	12,029	1	12,819	1	14,149	1	12,203
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	12,029	1	12,819	1	14,149	1	12,203

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
自動車総数	2	2	2	5
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	特になし
自転車の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	名称	ISO14001	2002年度
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	廃棄物管理システムを活用し排出量の管理削減を行っている		2010年度

1.5 自由記載欄

<p>※高効率機器への更新 高効率コンプレッサ 2台更新 31.7 t - CO2 削減</p> <p>※吸収式冷温水機から高効率冷温水チラーへ更新 201.5 t - CO2 削減</p> <p>※エアー夜間圧力変更及び使用量抑制実施 14.5 t - CO2 削減 夜間になるとエアー使用設備が減り圧力変更行っても大丈夫との確証を得られたので設定圧力を夜間下げた。また、使用流量の適正化を行いエアー使用量を抑制した</p>
